

| | | | | | |
|----------|---------|------|-----|-------|------|
| 授業科目 | 内臓系の解剖学 | | | | |
| 担当者 | 赤松 香奈子 | | | | |
| 実務経験者の概要 | | | | | |
| 学科名 | 作業療法学専攻 | 学 年 | 1 年 | 総単位数 | 1 単位 |
| | | 開講時期 | 後期 | 選択・必修 | 必修 |

■ 内 容

医学の基礎である解剖学のうち内臓系について、単なる形態構造のみの学習にとどまらず、関連する器官と合わせてその構造と機能を学ぶ。

■ 到達目標

医療専門職として必要な内臓系の構造と機能を、関連機関と合わせて理解する。
適切な専門用語を用いて説明することができることを目標とする。

■ 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
呼吸器系；鼻腔、咽頭
- 第2回 呼吸器系；喉頭、声帯、気管
- 第3回 呼吸器；胸腔、肺
- 第4回 消化器系；口腔、歯列、唾液腺、舌
- 第5回 消化器系；食道、胃
- 第6回 消化器系；小腸、大腸
- 第7回 消化器系；肝臓、胆嚢、膵臓
- 第8回 消化器系；後腹膜臓器、消化管の脈管
- 第9回 泌尿器系；腎臓
- 第10回 泌尿器系；尿管、膀胱
- 第11回 生殖器系；男性生殖器
- 第12回 生殖器系；女性生殖器
- 第13回 内分泌系；視床下部と脳下垂体、甲状腺、副腎、精巣と卵巣、膵臓
- 第14回 感覚器系；視覚器
- 第15回 感覚器系；聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚感覚器
テスト前総復習

■ 評価方法

【科目試験（筆記試験）100%】

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

系統ごとに復習プリントを配布するので、復習しておくこと。講義で配布する資料のみでなく、さまざまな参考書等を用いて理解を深めること。

■ 教科書

書 名：PT・OT・STのための解剖学
著者名：渡辺 正仁
出版社：廣川書店

■ 参考図書

書名：ネッター解剖学アトラス 原書第6版

著者名：F.H.Netter

出版社：南江堂

■ 留意事項

遅刻・欠席はルールに従って必ず届けを出すこと

■ 講義受講にあたって

解剖学は今後学ぶ科目の基礎科目である。ここで理解できていないとのちに学ぶ科目の理解が困難となること間違いなし。単なる暗記にとどまらず、人間全体の生活や疾病と合わせて、人体への学びを深めていけるようにする。